

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: R3年 3月 9日

事業所名 ちやいんどえつく上小埜

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			・児童が密にならないよう部屋を区切って支援に当たった	
	2	職員の配置数は適切である	6				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6			・絵カードや写真等で分かりやすく視覚化している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6			・こまめな消毒を徹底し適度な換気を心がけている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1			・現在統括施設長が定期的に施設の評価を行っていますが、今後外部の方の評価も取り入れられる様、検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1		・研修に参加した職員が記録を記入し内容を共有出来ている	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			・第2、第4週で可能な限り療育会議を実施している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6				
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			・児童の利用曜日を 考慮しながら計画を 立てている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し ている	6			・児童の発達段階を 考慮出来ている	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			・日々確認しています ・主の職員が一日の流れ(予定や担当等)を設定し全職員で共有出来ている		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			・必ず行っています		
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			・日々意識しています・ヒヤリハットや事故等が発生した場合は必ず記録に残す事を徹底している		
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6					
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			・状況に応じて児発管以外の現場の職員も参加している		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2	1		・母子保健や子育て支援課との連携は取れていないので検討していきます。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2		3			
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2		3	・職員に周知指せるよう声掛け提示を行っています ・直接ではないが保護者より情報を頂き共有出来ている		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		1			
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		2			
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1		3	2	・コロナの影響を受け思うように動けないです。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			4	2	・上に同じ	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1		3	2	・上に同じ	

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・職員間でそれをテーマにし会議を行っています・定期的に面談を行い支援内容を報告出来ている	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3			
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			・保護者から話が あれば時間を設 け面談を実施し ている	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	2	・コロナの状況下 で行えないでい ます。	・今後コロナ対策をしながら保 護者会の開催を検討して行き たいです
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			・管理者、児発管 が主に対応をし 他職員に共有出 来ている。必要 であれば療育 担当の職員も参 加している	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3			
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	6				
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	3		・今後検討して行きます。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6				
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			定期的に実施し記 録を残している	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			・薬剤情報の入手 や発作時の対応 方法について共 有出来ている	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1			
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			・事例が発生した 際は必ず記入し課 題を見つけ対応方 法を検討している	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1			
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6			・やむを得ない場 合を想定し保護者 へ同意を得てい る。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。